



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 丸紅建材リース株式会社

コード番号 9763 URL <https://www.mcml-maruken.com/>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)井ノ上 雅弘

問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)新井 祐宏

(TEL)03(5404)8200

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日

2023年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	9,742	12.4	518	19.0	621	9.0	442	3.3
2023年3月期第2四半期	8,670	1.3	435	△21.7	570	△17.0	428	△15.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 633百万円 (△4.7%) 2023年3月期第2四半期 664百万円 (14.0%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第2四半期	139.48	—	—	—
2023年3月期第2四半期	131.88	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第2四半期	31,572	15,726	48.1
2023年3月期	31,816	15,251	46.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 15,181百万円 2023年3月期 14,726百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	—	40.00	—	60.00	100.00
2024年3月期	—	50.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,500	2.0	1,100	△5.2	1,500	1.3	1,100	△1.1	342.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期2Q	3,429,440株	2023年3月期	3,429,440株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	256,209株	2023年3月期	256,098株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期2Q	3,173,286株	2023年3月期2Q	3,249,911株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)におけるわが国経済は、個人消費やインバウンド需要の回復が進み、社会経済活動に緩やかな持ち直しの動きがみられました。しかしながら、世界的な金融引き締めや不安定な国際情勢の中、原材料・エネルギー価格の高止まりや物価の上昇が続いており、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、政府建設投資と民間建設投資は底堅い動きで推移しておりますが、資機材・物流コストの高止まりや労務費等の高騰に伴う建設コストの上昇により、依然として厳しい受注環境となりました。

このような環境下、当社グループの業績は国内では概ね堅調に推移する一方、海外(タイ・中国)の事業会社では持ち直しの動きに遅れが見られました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は97億42百万円(前年同期比10億72百万円、12.4%増)、営業利益5億18百万円(同82百万円、19.0%増)、経常利益6億21百万円(同51百万円、9.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益4億42百万円(同13百万円、3.3%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## ① 重仮設事業

厳しい受注環境下、引き続き採算性の向上に努めた結果、売上高は74億30百万円(前年同期比7億54百万円、11.3%増)となり、セグメント利益は7億39百万円(同37百万円、5.4%増)となりました。

## ② 重仮設工事事業

受注済み工事案件の進捗により売上高は15億30百万円(同2億8百万円、15.8%増)となりましたが、一部案件ではコスト上昇の影響を受け、セグメント利益は35百万円(同4百万円、11.4%減)となりました。

## ③ 土木・上下水道施設工事等事業

土木・上下水道施設工事、設備工事が堅調に推移し、売上高は7億81百万円(同1億8百万円、16.2%増)となり、セグメント利益は44百万円(同4百万円、10.2%増)となりました。

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前期末比2億43百万円減の315億72百万円となりました。受取手形、売掛金及び契約資産の減少額4億55百万円、電子記録債権の減少額5億4百万円と、現金及び預金の増加額2億22百万円、投資有価証券の増加額3億62百万円などによるものです。

負債合計は、前期末比7億18百万円減の158億45百万円となりました。契約負債の増加額8億64百万円、支払手形及び買掛金の減少額12億37百万円、その他流動負債の減少額3億73百万円などによるものです。

純資産合計は、前期末比4億75百万円増の157億26百万円となりました。配当金の支払による減少額1億90百万円と親会社株主に帰属する四半期純利益4億42百万円などの計上によります。この結果、自己資本比率は1.8ポイント増の48.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3億67百万円（前年同期比7億13百万円の収入減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益6億21百万円の計上や売上債権の減少額9億59百万円による増加と、仕入債務の減少額12億85百万円による減少などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、△1億5百万円（前年同期比20百万円の支出増）となりました。これは主に、当社工場設備を中心とした有形固定資産の取得による支出1億5百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、△39百万円（前年同期比7億51百万円の支出減）となりました。これは主に、借入金の増加額1億58百万円、配当金の支払1億90百万円によるものであります。

以上の結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物は、前期末比2億22百万円増の9億59百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2023年5月11日公表の2024年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	736	959
受取手形、売掛金及び契約資産	5,669	5,214
電子記録債権	2,012	1,507
建設機材	8,288	8,226
商品	549	710
材料貯蔵品	256	259
未成工事支出金	92	31
その他	353	628
貸倒引当金	△22	△37
流動資産合計	17,935	17,499
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,027	8,027
その他(純額)	1,049	1,053
有形固定資産合計	9,076	9,080
無形固定資産	9	8
投資その他の資産		
投資有価証券	4,333	4,696
退職給付に係る資産	45	29
その他	431	270
貸倒引当金	△14	△12
投資その他の資産合計	4,795	4,983
固定資産合計	13,881	14,072
資産合計	31,816	31,572

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,836	4,598
電子記録債務	1,542	1,492
短期借入金	1,593	2,352
1年内返済予定の長期借入金	1,460	1,360
未払法人税等	140	92
契約負債	844	1,708
賞与引当金	284	281
その他の引当金	55	29
その他	1,483	1,110
流動負債合計	13,238	13,024
固定負債		
長期借入金	2,330	1,830
退職給付に係る負債	25	25
その他	970	965
固定負債合計	3,325	2,821
負債合計	16,564	15,845
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,651	2,651
資本剰余金	924	924
利益剰余金	9,132	9,386
自己株式	△437	△437
株主資本合計	12,271	12,524
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	324	452
土地再評価差額金	1,975	1,975
為替換算調整勘定	245	337
退職給付に係る調整累計額	△89	△108
その他の包括利益累計額合計	2,455	2,656
非支配株主持分	524	545
純資産合計	15,251	15,726
負債純資産合計	31,816	31,572

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	8,670	9,742
売上原価	7,082	7,974
売上総利益	1,587	1,768
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	510	575
福利厚生費	131	136
地代家賃	88	90
退職給付費用	11	12
貸倒引当金繰入額	-	15
賞与引当金繰入額	188	176
その他	221	242
販売費及び一般管理費合計	1,152	1,249
営業利益	435	518
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	18	17
持分法による投資利益	110	66
その他	34	38
営業外収益合計	163	122
営業外費用		
支払利息	15	13
その他	13	5
営業外費用合計	28	18
経常利益	570	621
税金等調整前四半期純利益	570	621
法人税、住民税及び事業税	86	76
法人税等調整額	75	112
法人税等合計	162	189
四半期純利益	408	432
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△20	△10
親会社株主に帰属する四半期純利益	428	442



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	408	432
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	127
退職給付に係る調整額	△2	△19
持分法適用会社に対する持分相当額	249	92
その他の包括利益合計	256	201
四半期包括利益	664	633
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	684	612
非支配株主に係る四半期包括利益	△20	20

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	570	621
減価償却費	94	79
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△9	△12
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	13
受取利息及び受取配当金	△18	△17
支払利息	15	13
持分法による投資損益 (△は益)	△110	△66
売上債権の増減額 (△は増加)	1,700	959
棚卸資産の増減額 (△は増加)	352	△95
仕入債務の増減額 (△は減少)	△997	△1,285
未払消費税等の増減額 (△は減少)	11	4
引当金の増減額 (△は減少)	△1	△28
その他	△432	270
小計	1,173	457
利息及び配当金の受取額	31	23
利息の支払額	△14	△14
法人税等の支払額	△108	△99
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,081	367
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△85	△105
その他	0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△84	△105
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△626	758
長期借入れによる収入	1,000	-
長期借入金の返済による支出	△585	△600
リース債務の返済による支出	△12	△7
配当金の支払額	△266	△190
自己株式の取得による支出	△300	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△791	△39
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	205	222
現金及び現金同等物の期首残高	1,038	736
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,244	959

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
一時点で移転される財	5,398	—	291	5,689	—	5,689
一定の期間にわたり移転 される財	1,277	1,321	381	2,980	—	2,980
顧客との契約から生じる 収益	6,675	1,321	672	8,670	—	8,670
外部顧客への売上高	6,675	1,321	672	8,670	—	8,670
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,675	1,321	672	8,670	—	8,670
セグメント利益	701	40	40	782	△346	435

(注) 1 セグメント利益の調整額△346百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
一時点で移転される財	6,134	—	446	6,581	—	6,581
一定の期間にわたり移転 される財	1,295	1,530	334	3,160	—	3,160
顧客との契約から生じる 収益	7,430	1,530	781	9,742	—	9,742
外部顧客への売上高	7,430	1,530	781	9,742	—	9,742
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,430	1,530	781	9,742	—	9,742
セグメント利益	739	35	44	819	△301	518

(注) 1 セグメント利益の調整額△301百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。